

令和元年度 授業改善推進プラン 学年メモ

3年

	児童の実態	学習指導の課題	具体的な授業改善策	補充・発展的な学習指導の計画	具体目標	3月 成果と課題
国語	<p>○叙述をもとに想像を膨らませて自分の考えを書く力、調べたことを整理して順序よく書く力が身に付いていない児童が多い。</p> <p>○新出漢字が身につけていない児童や作文や日常のノート記述の中で活用することが難しい児童が多い。</p>	<p>○文章を読んで全体を把握する力と、段落や接続詞、大切な言葉などに注目して読解する力に個人差が大きい。</p> <p>○新出漢字を習得させる指導時間が十分にとれていない。</p>	<p>○場面の様子や登場人物の心情を捉えるために、根拠となる言葉を確認させたり、対話の学習を取り入れたりする。</p> <p>○前後の文の関係や、段落同士のつながり、接続詞や指示語などに着目し、文章を正しく読み取れるようにする。</p>	<p>○叙述を基に、情景を図や絵で描かせたり、国語辞典で語句を正しく捉えさせたりして、一文ごとの内容を確認させる。</p> <p>○漢字ドリルや東京ベーシックドリルを活用し、漢字の習熟や語彙の獲得などに取り組ませる。</p>	<p>○文章を確実に読解し、それに対する自分なりの考えを書くことができるようにする。</p> <p>○ふだんのノートなどでも既習の漢字を確実に使えるようにする。</p>	
社会	<p>○新聞作りなどの学習にはどの児童も意欲的に取り組んでいた。しかし、見学などで調べたことや資料から必要な情報を取り出し、比較・関連付けて考えることが難しい。</p>	<p>○良いモデルを示す指導や、児童相互の考えを交流させる活動が十分でなかった。</p> <p>○思考したことを文章で書き表すための時間を十分に取れない。</p>	<p>○1つの資料に注目させ、それについて全体交流で様々な意見を出させる。また、それができるようになったら、2つの資料を比較して自分の考えを書くようにする。</p>	<p>○資料やノートを色分けしたり、線で囲ったりして自分の考えが見えるようにする。</p> <p>○どの単元で意図的に自分の考えを書く活動、それを交流する時間を取り入れる。</p>	<p>○身の回りの社会的事象について意欲的に調べようとすることができる。</p> <p>○比較・関連して分かったことを、自分の言葉でまとめることができる。</p>	
算数	<p>○計算や作図では、速さや正確さについて個人差が大きい。</p> <p>○文章題を正しく読み取って答えを求めたり、計算した結果をもとに考えたりする力が弱い。</p>	<p>○計算や作図などの習熟に十分時間を取ることが難しい。</p> <p>○新しい単元について、既習の内容を生かして多様な考え方を引き出すことが難しい。</p>	<p>○立式の根拠や筋道を発表する学習を積極的に行う。</p> <p>○数直線などで表す経験を増やし、図と関連付けて考えさせる。</p>	<p>○用語、定義、性質について繰り返し指導をする。活用場面を文章題で提示して、考えさせることで定着を図る。</p> <p>○計算、作図の問題を多く取り組ませる。必要な既習事項を復習させる。</p>	<p>○既習の学びを生かして、自分の考えを数直線や図、文章などで書き表すことができる。</p> <p>○時間内で最大限問題演習に取り組み、計算や作図を確実に定着させる。</p>	
理科	<p>○植物や昆虫の観察、実験などに意欲的な児童が多い。</p> <p>○観察や実験の記録の取り方について個人差が大きい。</p> <p>○実験の結果とそこから分かることを分けて考えるということに対する理解がまだ十分でない。</p>	<p>○体験的な活動を計画的に取り入れにくい単元がある。</p>	<p>○観察や実験の際、注目させたい点について指導してから活動に入らせる。</p> <p>○実験についての予想を書かせ、結果と比較して考察したことを書かせ、全体でも意見交流を行う。</p>	<p>○観察や実験の安全な行い方を指導するとともに、記録の取り方などポイントになることを事前に助言する。</p> <p>○学習を通して身に付けた技能や知識を活用して、ものづくりを行う。</p>	<p>○観察や実験の目的を理解し、意欲的に活動に取り組むことができる。</p> <p>○観察や実験から分かったことを一般化して理解し、ものづくりなどに活用しようすることができる。</p>	
体育	<p>○体を動かすことが好きな児童が多い。</p> <p>○ルールや勝敗にこだわりすぎる児童が散見される。</p>	<p>○児童相互で見合ったり教え合ったりする学び方を身に付けさせたい。</p> <p>○ルールを守ったり勝敗を素直に受け入れたりし、児童相互に励まし合えるようにさせたい。</p>	<p>○よい動きを共有するための時間を設定し、対話的な学びになるようにする。</p> <p>○各単元の見通しをもたせ、行う運動や話し合いなどの意味を児童に理解させた上で取り組ませる。</p>	<p>○技能の習得について、場の設定や教師の声かけを適切に行う。</p> <p>○高い技能をもつ児童や技能が習熟してきた児童には少し難易度の高い課題に挑戦させる場も取り入れる。</p>	<p>○全員がルールを守り、それぞれの運動の技能の特性を楽しむようにする。</p> <p>○児童相互で励まし合ったり教え合ったりしてどの児童も意欲的に運動に取り組めるようにする。</p>	